

新生児スケジュール

経過・日時	出生当日及び翌日まで	入院翌日以降退院まで	退院日
治療／処置	体温や酸素濃度の測定を行います。 呼吸困難があれば、状態が安定するまで、保育器の中で経過を観察します。 必要に応じて点滴を行います。	全身状態に問題がなければ保育器から出ます。 哺乳量に応じて点滴を減量・中止します。 新生児黄疸が強くなった場合には、光線療法（黄疸を下げる治療）を行います。	哺乳量や体重増加、黄疸、全身状態などに問題がなければ退院です。 症状や経過によっては、退院が延期になる場合があります。
検査	必要に応じて血液検査やレントゲン検査を行います。	必要に応じて、黄疸の検査を行います。 生後3日目以降に聴力スクリーニング検査 を行います。	哺乳が充分できていれば、退院までに先天性代謝異常等の血液検査を行います。
薬剤	欠乏症の予防のため、ビタミンKの注射あるいは内服を行います(退院までに2回)。		
授乳	赤ちゃんのペースに合わせて、母乳やミルクをしっかりと与えましょう。 特別な栄養管理の必要性：無		
清潔	感染予防の点眼、お臍の消毒をします。 全身状態に問題がなければ、毎日清拭あるいは沐浴を行います。		
排泄	適宜オムツ交換いたします。		
患者さん及び家族への説明・指導	入院中は、症状や検査結果、治療などについて、適宜説明いたします。 母乳栄養の確立および育児技術の習得ができるように援助いたします。 心配な事、気になる事がありましたら、医師、看護師にお申し出下さい。		



入院期間については現時点で予想されるもので、今後の経過で変更となる可能性もあります。